

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名【新】人質立てこもり事件対策装備資機材整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 刑事部 捜査第一課 電話番号：058-271-2424 (内 4111)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,754 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,754	0	0	0	0	0	0	0	10,754
決定額	8,503	0	0	0	0	0	0	0	8,503

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

先般、長野県において現場臨場した警察官が銃撃され殉職し、さらに家族を人質に立てこもる事件が発生したことを受け、人質立てこもり事件対策装備資機材について、補正予算による緊急整備が認められたが、耐用年数超過等による対処能力不足を回避するため、装備資機材の更新整備を行う。

(2) 事業内容

ア 耐刃防護衣の更新整備

イ 装備資機材の更新整備

(3) 県負担・補助率の考え方

県内で発生する特殊犯事件捜査に必要となる負担であることから、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	10,754	耐刃防護衣他の整備
合計	10,754	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」に資するため、対処能力の強化を図り、
 県民の安全を守る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

事件捜査を推進するのに必要となる経費であり、目標・達成率を指標として示すことは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	犯罪捜査は、県民の安全安心に対してだけでなく、直接個人の生命・身体及び財産の保護に及ぶものであり必要性は高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	犯罪捜査は、県民の安全安心、生命・身体及び財産の保護に及び、欠くことのできない事業であり、十分な効果を挙げている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	調達方法など各種事業の効率化を図り、経費節減に努めている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 受傷事故(警察官の殺傷事件)防止のため、防護衣等の更新整備を図るとともに、機能を強化した装備資機材を増強整備する。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」の実現と県民の信頼と期待に応えるためにも、継続して装備資機材の増強整備に努めていく。
--